# ナンヨージューサー「柑橘しぼり機」
# 取　扱　説　明　書

**「電動式」ＮＪＥ－２３**

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読み戴いて正しい使い方で
末永くご愛用いただきますようお願いいたします。

写真１（全景と各部名称）

# 安全上のご注意　　必ずお守りください

## 1．本機は、濡れた手や足や着衣では使用しないで下さい。

接地線（アース線）は必ず完全に接地してください。
感電事故にご注意ください。安全の為、漏電ブレーカがついております。（背面下部）

写真２（漏電ブレーカーの位置）

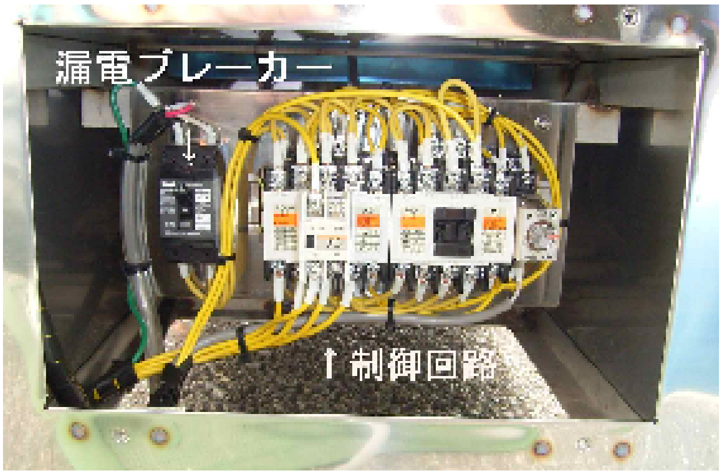


写真３（漏電ブレーカーと制御回路）

漏電ブレーカが「切」の状態になる場合は、漏電していますので使用しないで下さい。
コンセントを抜いて、当社まで対処方法をお問い合わせ下さい。

## 2．作業中は厚手の手袋と防護メガネを着用して下さい。

押板にある**切断刃**にご注意ください。写真６参照
動作中は絶対に機械内部に手を入れないでください。

## 3．本機は平らな所で、水平に設置してご使用下さい。

動かぬようキャスターのロックレバー（４ヶ所）で固定してください。写真２を参照
本機が不安定な状態では絶対に使用しないで下さい、大変危険です。

## 4．お子様の手の届かないところで、保管・ご使用下さい。

## 5．分解や改造をしないでください。

側面に点検口がありますが、さわらないで下さい。危険です。
本機は柑橘の搾汁以外には使用できません。また、国外でのご使用はできません。

## 6．熟した柑橘の搾汁以外には、使用しないで下さい。

## 7．長時間の連続使用はお避けください。

# ご使用方法　　　　ジュースの作り方

１．「ジューストイ」と「しぼりカストイ」を重ねて本体に取付て下さい。

取付場所は本体の前面にある落下口のすぐ下です。取付は付属の蝶ネジを使用します。

写真４（トイの取付）

２．搾汁圧縮部や投入通路をきれいに洗った後、やかん等の熱湯で消毒して下さい。

本機は防水仕様にはなっておりません。

洗える場所は「投入通路、搾汁圧縮部、落下口、しぼりカストイ、ジューストイ」です。

上記以外には絶対に水を掛けないでください。強い水流では洗わないでください。

ジュースに水が混ざると品質が悪くなりますので、各部の水を良く拭き取って下さい。

３．ジュースの落下口にジュース受箱（きれいなバケツ等）を置いてください。

ジュース受箱の上にザルを置き、その上に布を２～３枚重ねてジュースをこして下さい。

４．しぼりカス落下口に外皮用受箱（コンテナ等）を設置して下さい。

５．使用前に各窓や扉が閉まっているか確認してください。

６．電源コードをコンセントに差し込んで下さい。交流１００V仕様です。

7．投入通路の巾の調整

柑橘がスムーズに転がるように投入通路の巾を調整してください。

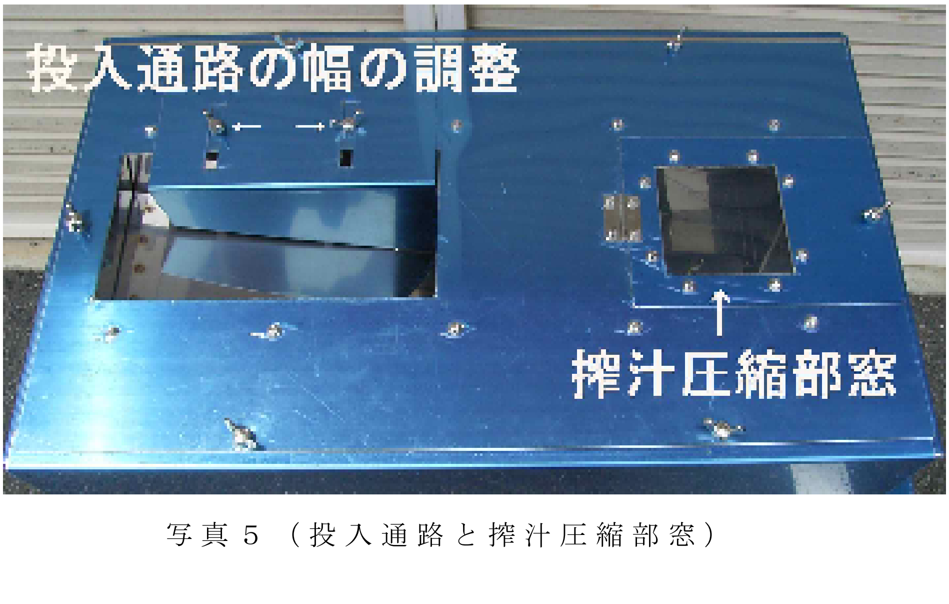


写真５（投入通路と搾汁圧縮部窓）

８． 柑橘を丸ごと投入通路に１～３個並べて置き、電源スイッチを入れると、
１個づつ転がって切りながら圧縮して絞れます。

◎ 搾汁作業中、外皮がトイに引っかかる場合がありますので、時々調べて取り除いて下さい。

◎ 青く堅いユズや外皮カス・木屑等が噛み込むと、動かなくなる時があります。
３～７秒程度そのままにしておくと、押板が戻って止まります。
搾汁圧縮部窓（写真５）を開けて作業します。電源コードを抜いてから長い箸（菜箸等）で、切断刃に注意しながら搾汁圧縮部（特に切断刃が入り込むところ）を掃除して下さい。

写真６（搾汁圧縮部）

９． 使用後は、必ず押板が３センチ以上戻った位置で、電源スイッチを切って下さい。

写真６は押板が完全に戻った状態です。
押し付けたままだと圧縮力が弱くなり、故障の原因になります。

１０． 電源コードをコンセントから抜き、速やかにジュースの通路をきれいに洗って下さい。

時間がたてばジュースがこびりついて洗い落としにくくなります。

# 参考

## １．外皮落下口の巾の調整

柑橘の大きさによって調整が必要な場合があります。

調整部は落下口内部の天井面にありますので落下口から覗き込んで作業してください。

写真７の蝶ネジ２個を緩めて、落下口調整板を動かし外皮落下口の巾を調整してください。

通常は２～３センチが適当です。

写真１、写真６、写真７参照

写真７（外皮落下口の巾の調整）

## ２． 搾汁圧縮力の調整（必ず電源コードを抜いて作業してください）

<u>この調整は通常必要ありません。当しぼり機の全体の構造を熟知した人以外は故障の原因や危険を伴いますので触らないでください。</u>

写真８の調整棒の長さを変えて圧縮力を調整します。調整棒下端が上下します。

①左側面の調整扉を開ける。（蝶ネジ２個を外す）

②ダブルナットの２つが緩むと調整できなくなりますのでテープを巻いて固定します。

③調整前の位置を覚えておく為にマジックで目印を付けます。
ダブルナットを回転させるので、回転数がわかる様に正面の位置に目印を付けます。
調整棒下端の位置に目印を付ける。

④回転防止ナットをゆるめる。（上から見て反時計回転方向）

⑤ダブルナットを回して搾汁圧縮力を調整する。
弱める：上から見て反時計回転方向・・・調整棒下端が上がる
強める：上から見て時計回転方向・・・調整棒下端が下がる
一度に何回転も回さず一回転ごとに様子を見ながら少しづつ調整してください。
なお、**<u>不必要に強く締めすぎると機械が壊れますのでご注意ください。</u>**

⑥回転防止ナットを締める。（上から見て時計回転方向）

写真８（搾汁圧縮力の調整）

## アフターサービスについて

１．保証期間はお買上いただいた日から１年です。

２．補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

３．本機の故障、調子が悪い、使用方法がよくわからない等の場合は、お買上販売店か、下記までご相談ください。


合同会社 南　陽

〒774-0014 徳島県阿南市学原町前田17-14

電話０８８４－２２－０６３０　FAX０８８４－２２－０８８５


平成２３年１１月１８日改訂